

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	(株)恵み野介護サービス グループホームだんらん	評価実施年月日	平成19年6月27日
評価実施構成員氏名	安斉 ひとみ(管理者) 氏家 淳子(計画作成担当者) 職員他 7名		
記録者氏名	氏家 淳子	記録年月日	平成19年5月31日

北海道保健福祉部福祉局介護保険課

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>事業所独自の理念の他に、職員間での新たな理念を作りサービスの向上に努めている。</p>		
<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>常に理念を共有して、管理者と職員は取り組んでいる。</p>		
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>施設内に理念を掲示しているほか運営推進委員会を通し理念に込められた思いを伝える等、地域の人々にも理解してもらえる努力をしている。</p>	○	<p>もう少し大きな字で見やすいところに理念を掲示する。便り(新聞)にも乗せて家族に知らせる。</p>
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>入居者との散歩時には、近所の人に挨拶を積極的に行うなどしている。気軽に立ち寄ってもらえるような付合いは行っていない。</p>	○	<p>気軽に立ち寄ってもらえるよう広報などで紹介したり、こちらから声を掛けるなどの働きがけをする。</p>
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>参加出来る行事等には出かけているが、老人会などにも参加できるのか町内会長に打診し、調べていただいている。</p>	○	<p>地域での一員として、まず町内の行事等積極的に参加していく。</p>
<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>常に利用者への支援を基盤に取り組んでいる。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>	職員全員で評価項目についての点検をしており、日々の業務の反省、新たな発見をする機会になった。改善点についても会議で報告されており、全員で改善に取り組めるようにしている。	
8	<p>○運営推進介護を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	2ヶ月に1度、運営推進会議を開催しており、利用者さんの希望、要望の声等を会議で提示し参加者の方からも積極的な意見・アドバイスをいただいている。	○ 自立度の高い人で希望のある方の老人クラブへの体験参加など、取り組んでいきたい。
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	運営推進会議は2ヶ月に1度行っている、また市で開催する包括会議・グループホーム協議会などに参加しサービスの質の向上に努めている。	
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>	成年後見制度を利用されている方がおり、そのケースを通し制度について知っている程度にとどまっている。	○ スタッフ会議の際に制度についての勉強を持つ等で認識を深める努力をしたい。
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。</p>	年に1度拘束委員会による研修が開催されており、その際に高齢者虐待防止関連法についても学んでいる。	
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	契約に際して、ご本人、ご家族への説明を十分に行い、御本人が納得されない場合無理に入所することのないよう確認を充分に行っている。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>13 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>苦情に関する相談窓口を各詰所に設けているが、利用者さんが積極的に活用出来るとはいえない。個々の不満、苦情に関し日頃から話を充分に聞くようにし、職員管理者共に把握、解消に向けての話し合いを持つようにしている。</p>		
<p>○家族等への報告</p> <p>14 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。</p>	<p>毎月面会のあるご家族については、面会時に日々の様子、お小遣い帳の点検、受診報告をしており、遠方または面会頻度の少ないご家族に関しては月に1度の電話、2ヶ月に1度の便りで状況報告をしている。</p>		
<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>15 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>苦情相談の窓口を設け、寄せられた苦情に関しては記録に残し、管理者・職員共に改善に向けての話し合いを持っている。また、運営推進委員会において情報公開している。</p>		
<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>16 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会議や管理者による個別面談で職員の意見提案を聞く機会が設けられており、職員の意見が反映されている。</p>		
<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>17 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>必要な時に必要な人材を確保出来るよう職員の勤務調整を行っている。</p>		
<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>18 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>馴染みの環境を保てる努力をしており必要に応じ入居者さんへ適切な説明を行っている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>職員を段階に応じて育成出来るよう、それに応じた研修に幅広く参加できる機会を確保すると共に内部研修で伝達講習を行う等トレーニングの場も確保している。</p>	
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>勉強会を定期的実施し研修等に積極的に参加してサービスの質の向上を計っている。</p>	
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>職員の悩み相談に関し個別に聞く機会を持つたり有休等の活用で職員がリフレッシュ休暇を取れるよう配慮している。また、親睦会開催の行事で職員が楽しみを持てる場を作っている。</p>	
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>定期的に勉強会を設ける事で、意欲の向上に努めると共に初心を忘れず働けるよう努めている。</p>	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>相談を受けた段階より相談員は、ご本人の不安やニーズに耳を傾け、ご本人自身から本人の状況や思いを聞くようにしている。</p>	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>ご家族から出された不安・ニーズにも耳を傾け受けとめる努力をしている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>25 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>相談を受けた際入居するしないに関わらず、ご本人やご家族の要望に耳を傾け、今必要としている支援サービスの選択ができるよう助言している。</p>		
<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>26 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>	<p>入居前には必ずご本人の目で見学して頂き、本人に納得して頂いています。また、場の雰囲気に馴染めるように常に声掛けをし安心して頂くようにしている。</p>		
<p>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</p>			
<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>27 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>	<p>職員は利用者さんに対し人生の先輩としての尊厳を忘れず接すると共に、時には学ばせて頂きさりげなく支え合う関係を築く努力をしている。また、会話・スキンシップを通し喜怒哀楽を共にしている。</p>		
<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>28 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>ご家族来所時に、本人の様子を伝えながらご家族からも要望を聞くなどし、一緒に本人を支えていけるよう努力している。</p>		
<p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>29 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。</p>	<p>本人のご家族に対する思いを汲み取るよう心掛け本人の持てる力でご家族にしてあげたい気持ちを表現できるよう支援している。(お孫さんの入学祝いに手作りのリースやカードを送る等)</p>		
<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>30 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>家族、友人等にできるだけ会いに来て欲しい旨は伝えている。また、時々外泊・外出する機会を作って欲しい事も伝えている。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	利用者さん同士と一緒に和気合々と取り組める仕事を依頼したり日頃より気がねなく談話できる関係を築けている。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	退所して他の病院に入院している方については時々お見舞に行くなどして関係を断ち切らない付合いを大切にしている。		

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握

33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ケアプラン作成時必ず本人の希望や意向を確認しており、状態の変化が生じた場合も本人の意向に合わせたプラン修正を行っている。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居時のアセスメントで不足のある部分は、その都度本人やご家族から話を聞く等で把握に努めている。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	毎日のバイタルチェックを行い、心身状態に特変があれば管理者(看護師)に相談して適切な対応ができるよう指導を受けている。		

2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し

36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	介護計画を立てる際は必ずご本人ご家族の意見・要望を取り入れスタッフからも幅広い意見を出してもらいスタッフ会議で計画についての話し合いを持った上で作成している。		
----	--	---	--	--

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	3ヶ月毎に計画の見直しを行うとともに本人に変化が生じた時にはすぐに計画の見直しをする体制を取っている。		
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに生かしている。	日々の様子や介護計画のケアの実践等は常に見直しておりその都度記録しています。必要があればスタッフ会議を設けて話し合いをしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	本人、ご家族の希望により福祉用具を購入している。また、デイサービスとの交流を計っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	皆さんの意見を取り入れ地域でのお祭りやコンサート花見などを積極的に取り入れている。また、ボランティアの活用、消防訓練、救急救命研修等も行い支援している。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	他施設を利用された方についてはケアマネージャーの来訪の際、情報交換する等で他のサービスを必要とする場合も相談などしている。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	現段階では、地域包括支援センターと協議して支援体制を取っているとはいえない。	○	今後、運営推進会議に包括支援センター職員も参加が決まっている事から協働し支援体制のあり方を確立して行く。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
<p>43 ○かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>管理者が看護師であり医療に精通しているため、協力病院との連携も速やかに出来ている。</p>		
<p>44 ○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p>	<p>入居前に専門医にかかってなかった人には、協力病院を紹介したり継続して受診が必要な人には定期的に受診出来るよう支援している。</p>		
<p>45 ○看護職との協働</p> <p>事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>看護職員を確保しており定期的な健康チェックが行われている他、変調時にも迅速に対応できている。</p>		
<p>46 ○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p>	<p>協力医療機関のソーシャルワーカーとは常に連携し情報交換を行っている。</p>		
<p>47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p>	<p>往診医がいないため、ホームでの看取りは行っていないが、終末期には協力医療機関での対応となる事を家族や病院と話し合っている。</p>		
<p>48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p>	<p>最後まで本人の能力を見極め支援している。また、今後予測できる事を話し準備している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>49 ○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>住み替えをする方がいなかった為、実際は行っていませんが、もし住み替えをする方がいた場合は、ケア関係者と十分な話し合いや情報交換は必要だと思います。</p>		
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
<p>50 ○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>個人情報はスタッフ内間で取り扱っているも秘密保持の徹底を計っている。また、個々の誇りやプライバシーを損ねる対応がないよう細心の注意を払っている。</p>		
<p>51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>本人の思いや希望を現せるような環境作りをしており、利用者が出来ることは自分でして頂くなど、本人の意思を尊重できる支援をしている。</p>		
<p>52 ○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>日常生活において利用者が何かを行おうとする時は職員側の都合を優先するのではなく各自のペースを大切にその都度自分で選んだり、選べるような支援をしている。</p>		
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>53 ○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、利用・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>1ヶ月に1度、床屋さんの訪問があり希望者は利用している。また、本人の行きつけの店へ行き身だしなみを整えている。</p>		
<p>54 ○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしているか。</p>	<p>必ず利用者と職員と一緒に毎食の準備片づけを行っている。また、職員は入居者の皆さんから昔ながらの作り方などを教わっている。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	1人1人の嗜好に応じて一緒におやつやお酒を買いに行き各自の状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。		
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	排泄の失敗がある方にはトイレの際の声掛けや見守りを行い排泄パターンをつかむようにしている。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	入浴は土、日以外毎日行っており、順番を決めず入りたいときに入ってもらう形をとっている。また、希望があれば土、日でも入浴を行う等、希望通りの入浴が出来るよう支援している。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。			
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活層や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	役割を持ってもらい張り合いを持って生活できるよう支援している。細かい作業が得意だった方には針仕事をして頂いたりしてもらい、1人1人の生活歴も活かしている。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	自己管理出来る方に関しては、あまり多額を所持しないようにして頂き、管理できない方は詰所で管理し買いたい物があれば一緒に買い物に出かけている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○日常的な外出支援</p> <p>61 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。</p>	<p>夏場の晴天時には散歩を取り入れたり、日曜日には全員でドライブに行ったり広報に載っているイベントに出かけたり外にでる機会を増やしている。</p>		
<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>62 一人ひとりが言ってみない普段はいけないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。</p>	<p>1人1人に行ってみない所を聞くなどし、個別で外出する機会を設けている。ご家族とも出かけられるような機会をつくり関わりを多く持って頂くようにしている。</p>		
<p>○電話や手紙の支援</p> <p>63 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ご家族が遠方にいる方には、電話をする機会を設けている。</p>		
<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>64 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>	<p>家族・知人・友人等がいつでも来られるように暖かい雰囲気作りを目指しております。</p>		
(4)安心と安全を支える支援			
<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>65 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>24時間体制で見守りを行っており、拘束しないケアを行っています。</p>		
<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>66 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。</p>	<p>日中は鍵をかけず、いつでも外へ出られるようにしている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	個人の行動を尊重し自分の意思で1階や外へ行く人に関しては行動の制限をせず、職員間で見守りを含め所在の確認をしている。夜間自室に施錠をしている人で開けられる事を拒否される方に関してはご家族の了承のもとトイレに起きて来られた際安全の確認をしている。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	調理器具・ポット・洗剤・総裁箱等注意を要する人に対し1人1人の状態に合わせた防止策を取っている。		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	事故防止については日頃よりヒヤリ・ハットを活用事故防止が起きそうな状況を皆で把握すると共に1人1人の状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	○	行方不明に対しての取組み
70 ○急変や自己発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	定期的に救命講習を全職員で受けるようにし応急手当の知識を得ている。		
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	火災については、年に2度火災訓練を実施し避難・通報・消火方法について学んでいる。	○	地震・水害等についての対策については十分といえないので今後取り組んでいきたい。
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	体調の変化、認知症の進行に伴うリスクについて話し合っている。		

(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	毎朝バイタルチェックを実施、異常時は再検し看護師に報告している。その日の勤務者全員が状態を把握出来るよう送りも徹底している。		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	受診時に処方された薬の説明書をファイルしてあり、薬の内容や副作用について随時確認している。		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	便秘の予防に努め食物繊維の豊富な食材を使った調理の工夫や体操の機会を設けている。		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	自立者が多い為、食後は各自で口腔ケアをして頂いている。磨き方が不十分な方には職員が声かけ見守りをし、入れ歯の方全員、月・木にポリドントをする等衛生面に気をつけている。		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事で野菜不足が生じがちな人に対しては野菜ジュースを提供したり、好き嫌いがある場合はメニュー変更する等個々に応じた対応が出来ている。水分が不足がちな人には個人用飲み水ポットを使用、自室でも充分飲めるようにして頂いている。		
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症予防マニュアルを常備しており季節の変わり目や流行時職員に注意を促している。		
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	毎日まな板やふきんの漂白を行っており衛生管理に努めている。また、食材は毎回新鮮な物を使用している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
80	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p> <p>玄関周りに花壇を作り花を一面に咲かせていて、いつも入りやすいように工夫している。</p>		
81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用にとって不快な音や光がないように配慮し、生活観や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p> <p>季節毎にその季節にあわせたポスターや入居者の方に季節感のある絵を書き添わせて貼っている。また、その時期に合わせた装飾をしている。</p>		
82	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p> <p>居間の他にも憩いの場を設置しており語り合える場所を設けている。</p>		
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p> <p>居室には使いなれた馴染みのものを入居時持って来ていただくようにしており、居心地よく過ごせる工夫をしている。</p>		
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p> <p>毎日必ず窓を開け空気の換気を行っている。冬期間には加湿器を設置し湿度を保つと共に室温も一定を保つようにしている。</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p> <p>廊下には手すりが設置されておりバリヤフリーのフロアになっているので身体機能の低下が見られても自力で歩けたり、車椅子を利用し安全に移動する事が出来る。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
<p>86</p> <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>認知症からくる記憶の混乱等、個々がどのような場面で不安・混乱を生じやすいのか、日々の生活の中の出来事を職員が把握し、混乱や失敗を防ぎ自立した生活ができるよう取り組んでいる。</p>		
<p>87</p> <p>○建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>建物の外には花壇やプランターに花を植えたり、畑を作ったりし入居さんが季節の花や収穫を楽しむ工夫が来ている。また、外の物干しに洗濯物を干したり楽しく活動できる場がある。</p>		

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	①ほぼ全ての家族 ②家族の2/3くらい ③家族の1/3くらい ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)